

令和5年度教科用図書北諸県採択地区協議会

1 会議が開催された日時及び場所

○ 第1回北諸県採択地区協議会

日時：令和5年6月2日（金）15：00～17：00

場所：都城市役所南別館 第2会議室

○ 第2回北諸県採択地区協議会

日時：令和5年7月12日（水）9：00～15：00

場所：都城市役所南別館 第2会議室

2 出席者氏名

○ 北諸県採択地区協議会委員

No.	役名	職名等	氏名
1	会長	都城市教育長	児玉 晴男
2	委員（副会長）	三股町教育長	米丸 麻貴生
3	委員（監事）	都城市教育委員	赤松 國吉
4	委員（監事）	三股町教育委員	長岡 江利子
5	委員	都城市保護者代表	赤池 智和
6	委員	三股町保護者代表	愛甲 敬二


○ 事務局（都城市教育委員会）

No.	役名	職名等	氏名
1	事務局 長	都城市学校教育課長	山内 昭弘
2	事務局（総括）	都城市学校教育課副課長	加治屋 輝昭
3	事務局（書記）	都城市学校教育課指導主事	多田 宏
4	事務局（会計）	都城市学校教育課主任主事	市田 菜緒

3 会議の議事の経過及びその結果の要旨 別紙

4 議事録の作成に係る職務を行った者の氏名

都城市教育委員会 学校教育課 指導主事 多田 宏

会長： 児玉、晴男 

副会長： 米丸 麻貴生 

第1回北諸県採択地区協議会 議事録

【協議】

令和5年6月2日

発言者	発言内容
事務局	<p>【議長選出】について 議 長：児玉 晴男 都城市教育長</p>
事務局	<p>【会長及び副会長の選出】について 会 長：児玉 晴男 都城市教育長 副 会 長：米丸 麻貴生 三股町教育長 提案どおり</p>
会長	<p>【監事の選出】について 監 事：赤松 國吉 都城市教育委員 長岡 江利子 三股町教育委員</p>
会長	<p>【事務局長、書記、会計の任命】について 事務局長：山内 昭弘 学校教育課長 総 括：加治屋 輝昭 学校教育副課長 書 記：多 田 宏 指導主事 会 計：市田 菜緒 主任主事 提案どおり</p>
会長	<p>【事業計画案】について 提案どおり</p>
会長	<p>【予算案】について 提案どおり</p>
会長	<p>【専門委員の委嘱】について 提案どおり</p>
会長 事務局	<p>【教科書採択の観点案】について 県の作成した観点1から観点3に加え、地区の実情に応じた観点として、本地区の「児童の実態上の課題」を観点4としている。 本案を各専門委員会で検討・確認した上で、教科書研究を進めることになる。</p>
会長 委員	<p>質問や意見はないか。提案どおりでよいか。 異議なし。</p>

発言者	発言内容
会長 事務局	<p>【情報公開】について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 委員氏名：公開 2 専門委員氏名：求めがあれば公開 3 議事録：原文を公開 4 採択協議会傍聴：非公開 5 研究資料：総評及び概評について公開 6 採択結果：公開 7 採択理由：公開 8 教育委員会日程・傍聴について 両教育委員会が傍聴不可。
会長 委員	<p>令和2年度の情報公開と同じということであるが、質問や意見はないか。 提案どおりということではいいか。</p> <p>異議なし</p>
会長 副会長	<p>すべてを通して何かないか。</p> <p>臨時教育委員会は三股町と都城市ともに同じ日になっているが、業務の関係で時間を合わせることはできなかった。</p>
会長	<p>協議を終了する。スムーズな議事の進行に感謝申し上げる。</p>

国語・書写 報告 質疑	
発言者	発言内容
事務局長 専門委員長 事務局長 委員	<p>国語、書写の研究の成果について、報告を求める。</p> <p>(報告)</p> <p>委員より質問を受け付ける。</p> <p>(国語 質疑応答)</p> <p>本地区の児童にとって何が大切かを考えたときに、「書かれている内容を正確に読み取る」、「作者の豊かな表現に触れて、心豊かに楽しみながら読む」、「その表現の素晴らしさを学ぶこと」だと思っている。そのような観点も含めて、本地区の児童の実態から見たときに、特に特徴的な工夫が見られた教科書があったら教えてほしい。また、具体的にどのような工夫が見られたのかも併せて説明してほしい。</p>
専門委員長	<p>本地区の児童の実態は、根拠や理由を明確にし、自分の思いを伝え合う力を身に付けることである。その実態から見たときに、特に特徴的な工夫が見られたのが東京書籍と光村図書出版の2者である。</p> <p>東京書籍では、単元の最初に「言葉の力」として、何を身に付けるかが一目でわかるように短い言葉で示され、最後にはその「言葉の力」が図解も加えて、簡潔に示されている。また、教科書の巻頭扉の裏や巻末には、その言葉の力がまとめて示されている。児童が何を身に付けたかを自覚し、読むことだけでなく、話す・聞く、書くことにおいて、繋がりがわかるような工夫が見られる。</p> <p>もう1つは、光村図書出版である。教材文を読んだ後、「問いをもとう」が設けられている。一人一人が問いをもって主体的に学習を進められるような工夫が見られる。学習を深める段階では、選択課題や思考をするための複数の観点が示され、個別最適な学びが進められるような工夫が見られる。</p>
会長	<p>質問が2つある。1点目は、「見直しをもとう」の中に「問いをもとう」というのが光村図書出版にはあるということ、東京書籍の方は巻末にそのようなことが一覧で載っているということ。そうなってくると、本地区の子供たちにとって、まとめた方がよいのか、それぞれ単元の頭に示されていた方がよいのか、表現の仕方や教科書の構成の仕方について、どのような研究がなされたのかをお聞きしたい。</p> <p>2点目は、今回の国語の教科書でもかなりのQRコードが出てきている。このQRコードについて、先程の2者でよいので特徴を説明してほしい。</p>

国語・書写 報告 質疑	
発言者	発言内容
専門委員長	<p>まず1点目については、東京書籍は巻末等にまとめてある。光村図書出版も巻頭の方に、学年とその前の学年の言葉の力になるようなものがまとめられている。また、「問いをもとう」が、光村に設定されている。主体的に学ぶ児童がこれから求められているということで、問いをもち学習を進めていくということは、子供にとっても利便性があるという研究となった。</p> <p>また、2点目のQRコードについては、東京書籍、光村ともに、話合いのモデルを解説付きの動画で見ることができるようになっている。</p>

算数 報告 質疑	
発言者	発言内容
事務局長 専門委員長 事務局長 委員	<p>算数の研究の成果について、報告を求める。 (報告)</p> <p>委員より質問を受け付ける。 (国語 質疑応答)</p> <p>子供たちに一番身に付けてもらいたいのは、数学的な考え方の基礎であると思う。低学年のうちからしっかり身に付けることが本地区の子供にとって大切ではないかと思う。</p> <p>このようなことも含めて、本地区の子供たちの実態から見たときに、特に特徴的な工夫が見られた教科書があったら教えてほしい。また、具体的にどのような工夫が見られたのかも併せて説明してほしい。</p>
専門委員長	<p>本地区の児童の実態として、数量や図形などについて身に付けるべき基礎的・基本的な知識及び技能の習得と、身に付けた知識や技能を活用し、自分の考えを筋道立てて説明するという2つの点に課題が見られる。その実態を見たときに、特に特徴的な工夫が見られたのは、教育出版と啓林館の2者である。</p> <p>まず、教育出版では、各単元のまとめとして、4コマ漫画や穴埋めでまとめる場を設定したり、つまずきやすい問題をクローズアップしたりすることで、児童が学んだことを意欲的に振り返り、考えるヒントを見て、自分で考えることができるように配慮されている。また、巻頭の「算数で使いたい見方・考え方」では、既習内容をキャラクターの言葉で表現しており、児童が思考力・判断力・表現力を習得できるよう工夫されている。</p> <p>次に、啓林館では、既習事項を生かして、筋道を立てて説明する力を身に付けさせるために、見通しを立てたり、根拠をもって考えを進めたりする内容がキャラクターの言葉やマーカーで強調されている。また、問題の横にタイトル付きの二次元コードが掲載されているので、児童にとって利便性が高</p>

算数 報告 質疑	
発言者	発言内容
委員	<p>いと思われる。さらに、各単元において、図や表を使って考えを説明する場面を位置づけていて、児童が思考力・判断力・表現力を習得できるよう工夫がなされている。</p> <p>5年生ぐらいになると、苦手意識を持ってくる子供たちも増えてくると思うが、先程説明いただいた連続して関連のある単元を配置しているところと、苦手な子供が多いって言うようなことで言われたが、本地区もそれが当てはまるかどうかというところも含めて、苦手意識をもつ子供たちが多い単元を分けて配置したり、後半に配置したりといった配列についてはどう考えられるか教えていただきたい。</p>
専門委員長	<p>算数は教科の特性として、既習事項を生かすというような内容があるので、系統性を考えていくと、連続した学びの繋がりの方がいいのかと思う。ただ、定着という観点からすると、前半と後半に分けた方が既習内容をしっかり身に付けさせるという上で効果があると思う。</p>

国語・書写、算数 協議	
発言者	発言内容
事務局長	<p>では、国語・書写、算数の選定に入るので、会長に司会をお願いします。 (国語・書写の協議)</p>
会長	<p>先程、委員長の報告で本地区の児童の実態から見た特徴的な教科書について、東京書籍と光村図書出版の2者が挙げられたが、この2者に絞って協議するということでしょうか。(「異議なし」の声)</p> <p>では、国語について意見をいただきたい。</p>
委員	<p>どの発行者もきちんとした工夫がなされているが、光村図書の内容が読み取る力を育てるという内容に加えて、素晴らしい文学教材が1年生から6年生まで取り上げられている。そういうことを考えたときに、本地区の子供にとって、光村図書出版がふさわしい教科書になるのではないかと思います。</p>
会長	<p>小学校2年生上巻の教科書を見てほしい。光村図書と東京書籍である。その中の、たんぼぼの単元であるが、見ていただくと、両社とも同じようにたんぼぼの秘密を解き明かそうという説明文である。この冒頭の部分を見比べると、東京書籍の方が「たんぼぼの秘密を見つけよう」となっている。光村図書の方は「順序に気をつけて読もう」となっている。これは、教える側にとっては大きな違いであり、実は学習指導要領の中では、「順序に気をつけて</p>

国語・書写、算数 協議

発言者	発言内容
	<p>読もう」というのが、本来のこの単元の扱い方である。これを「たんぼぼのひみつを見つけよう」というふうに出してしまうと、「たんぼぼのひみつ見つけ」になってしまう。これで大きく時間をそがれてしまう。</p> <p>光村の方は、順序立てて、「はじめ・なか・おわり」という、この3つの文体がはっきりわかればよいという状況の中で、このような表現の仕方があるということは、やはり教える側にとっても「順序立てて」という部分を強調していただいた方が、教えやすいというか、間違えずに教えられる。両方とも非常に素晴らしい教科書であることは間違いないわけであるが、そういう中で皆様方のご意見をいただきながら決定していきたいと思うが、他にご意見等はないか。</p>
会長	<p>それでは、国語の選定に入る。(挙手で確認)。</p> <p>東京書籍 0名、光村図書出版 6名となった。挙手多数ということで、国語は光村図書出版に決定する。</p>
会長	<p>(書写の協議)</p> <p>次に、書写の選定に入る。</p> <p>書写について意見をいただきたい。</p>
委員	<p>光村図書の1年生に「鉛筆の持ち方」で正しい持ち方が示されているが、学校に行くと、不適切な握り方で文字を書いている子供の姿を多く見る。これは1年生のときに正しい持ち方を指導しなかったから、そういう子供の姿を見るのだと思う。光村の8ページ9ページは、鉛筆について最初に右のページにこういう持ち方が正しいんですよ、ここは空間開けるんですよとか、やさしく持つ、ギュッと握らないとか、非常に細かな部分が記載されている。小学校1年生の最初のうちは「読む」とかそういった活動ばかりだが、書く活動を始めるときに正しく鉛筆を持つということの大切さをわかりやすく記述してあるところが他者に比べていいと思う。</p>
委員	<p>先程の説明にもあったが「道」という字の説明について、光村図書の方では手本になるような文字ばかりが出ていると思うが、こういうふうになるとバランスが悪くなっていくというのが出ていて、わかりやすいと思った。やはり手書きというのがずいぶん減ってきているので、「手書きの力」とか、そういうところあたりも使って、日常的に指導できるところがよいと思う。</p>
会長	<p>それでは書写の選定に入る。(挙手で確認)。</p>

国語・書写、算数 協議

発言者	発言内容
会長	<p>東京書籍 0名、教育出版 0名、光村図書出版 6名となった。挙手多数ということで、書写は光村図書出版に決定する。</p> <p>次に、算数の協議に入る。</p> <p>算数は、教科書のサイズが大きく違うのが1者だけあって、ランドセルに入りにくいのではないかなみたいなこともあるが、先程の説明の中で、本地区の子供たちのために特徴のあるということで教育出版と啓林館の2者が挙げられたが、この2者に絞って協議するということでよいか。（「異議なし」の声）</p> <p>それでは、2者について意見をいただきたい。</p>
委員	<p>指導する先生方の指導しやすさもあるだろうが、やはり目指すところは、先程聞いた定着ということではないだろうか。</p>
会長	<p>子供たちのことを考えれば定着という部分が非常に重要ではないかというご意見であった。他にはないか。</p>
委員	<p>子供たちが楽しく学んで、数学的な見方や考え方の土台的なものを楽しみながら、そのよさに気付いていく。数学的な活動とか算数的な活動とか、物を作って転がしてみたりとか、あるいは展開図で作って組み立ててみるとか、そういうことをする算数的活動を通してながら、低学年から高学年に学びを深めていくのが算数であると思う。それを考えたときに、この主体的に学ぶという部分の工夫というのが1つポイントになるのではないかと思う。私は啓林館の教科書が、学ぶめあてに繋がる問いかけとか、気づきを掲載しており、子供が主体的に学ぶ、そういう学習に繋がっていくのではないかなと思う。学校で習ったことを家に帰ってもう1回復習するときに、学ぶめあてに繋がる問いかけとか気づきが教科書に出てるということは、復習しやすくなると思う。</p>
委員	<p>先程の説明でもあったが、それぞれのキャラクターが大切なポイントでコメントしている。啓林館は、多様性のあるキャラクターが出ているのが印象的である。そういったところが特徴があると聞いて、子供たちの着眼点だったり、重要な要素であるのだろうなと感じた。啓林館はそういうところが充実してるのかなという印象を受けた。</p>
会長	<p>先程の説明の中にQRコードの話が出てきたが、実際に中身を見せていた</p>

国語・書写、算数 協議	
発言者	発言内容
会長	<p>だきたい。委員長に再入室していただいて、QRコードの説明を受けたいが可能か。</p> <p>(算数 専門委員長 再入室)</p> <p>それでは、教育出版と啓林館、この2者のQRコードについて研究の成果を御説明いただけないか。</p>
専門委員長	<p>教育出版については、音声なしの動画のみである。啓林館については、音声説明付きの動画である。どんなふうにならっていくのかという過程も解説されている。</p>
会長	<p>それでは算数の選定に入る。(挙手で確認)。</p> <p>教育出版 0名、新興出版社啓林館 6名となった。挙手多数ということで、算数は新興出版社啓林館に決定する。</p>

理科 報告 質疑	
発言者	発言内容
事務局長	<p>理科の研究の成果について、報告を求める。</p>
専門委員長	<p>(報告)</p>
事務局長	<p>委員より質問を受け付ける。</p>
委員	<p>(理科 質疑応答)</p> <p>本地区の児童にとって、身近にある疑問に思ったことを自分の力で何とかして探求していこうとする。そういう力を育むことが大切だと思う。また1・2年生で生活科を学んで、3年生からの理科や社会に発展していく。そういった生活科からの継続性も大切だと思うが、各者ご覧になって、特筆される教科書があれば教えてほしい。</p>
専門委員長	<p>本地区の児童の課題としては、問題を見つけてそれを解決するための科学的な思考が特に大切であると考え、研究の観点の中に入れた。各者それぞれ工夫が見られ、思考の流れが明示され、科学的な思考を促すといった工夫がなされている。</p>
会長	<p>本地区の子供たちの実態から見たときに、特に特徴的な工夫が見られた教科書があったら教えてほしい。また、具体的にどのような工夫が見られたのかも併せて説明してほしい。</p>
専門委員長	<p>2者ある。教育出版と啓林館である。</p>

理科 報告 質疑	
発言者	発言内容
	<p>本地区の課題として、思考力・判断力・表現力の育成があげられる。また、基礎的な内容の定着も挙げられる。教育出版については、問題と結論の対応が非常にわかりやすく、基礎・基本の定着の上でも、大事な言葉への色網掛けとか、「確かめよう」と「振り返ろう」が見開きになっているなどの工夫が見られる。</p> <p>啓林館については、ICT活用ということで二次元コードが随所にある。豊富な資料と教科横断的な視点から、様々な知識や子供たちの経験を生かした学びの工夫が見られる。また、基礎的・基本的な内容についても、太字になっているなどの表記の工夫が見られた。</p>

生活 報告 質疑	
発言者	発言内容
事務局長 専門委員長 事務局長	<p>生活の研究の成果について、報告を求める。 (報告)</p> <p>委員より質問を受け付ける。 (生活 質疑応答)</p>
委員	<p>本地区の子供たちの実態から見たときに、特に特徴的な工夫が見られた教科書があったら教えてほしい。また、具体的にどのような工夫が見られたのかも併せて説明してほしい。</p>
専門委員長	<p>本地区の児童の実態として、学校区による生活経験の差と表現力の乏しさ、また、未知の学びに向かう力の育成が課題である。生活上必要な習慣や技能を確実に身に付けさせたり、表現力を高めたりするための工夫がより多く見られる教科書がふさわしいと考えている。</p> <p>その中でも本地区の実態に合った特徴的な教科書が2者挙げられる。</p> <p>まずは、東京書籍である。東京書籍の特徴として、学びのプロセス、学習活動や思考の流れが示されている。また、活動便利手帳が掲載され、児童の気づきの質が高められるように工夫されている。また、身の回りの事象に気づき、自ら関わっていく力を身に付けさせるために、身近で取り組みやすい学習活動や学習材を写真や挿絵、吹き出し、表現など多様に掲載されている。</p> <p>次に、教育出版である。「わくわくスイッチ」で学習過程をイメージしたり、「はっけんロード」をたどって見通しをもって学習に取り組んだりする手立てがなされている。「わくわくスイッチ」や「はっけんロード」、「かんがえまどめいろ」が設けられており、学び方を身に付けて、主体的な学びが展開できるよう工夫されている。</p>

理科、生活 協議	
発言者	発言内容
事務局長	では、理科と生活の選定に入るので、会長に司会をお願いする。 (理科の協議)
会長	まず理科であるが、先程、委員長の報告で本地区の児童の実態から見た特徴的な教科書について、教育出版と啓林館の2者が挙げられたが、この2者に絞って協議するということでよいか。(「異議なし」の声) では、2者について意見をいただきたい。
委員	3年生の教科書を用意してほしい。教育出版では、モンシロチョウが卵から幼虫にかえて青虫になって、さなぎになって羽化していくというプロセスが丁寧に示されている。 啓林館では、モンシロチョウとアゲハ蝶の成長が両方対比できるように示されている。対比できるという点が特徴的であり、理解が進むのではないかと思った。 また、「ヒトの誕生」という単元も見比べてほしい。教育出版も啓林館もどちらも感動的な構成になっているが、啓林館では「ヒトの誕生」に入る前に、イチゴやへちまといった植物の成長の様子が充実しており、「ヒトの誕生」に繋がるような工夫がなされている点が良い。
会長	理科や生活は、観察や実験など動くものについて顕著な学習であるが、先程説明があった教育出版と啓林館のQRコードについて研究の成果を説明してもらいたいので、委員長に再入室してもらいたい。
専門委員長	各者ともに学習の段階に応じて二次元コードが掲載されている。段階というのは生活経験の想起、実験観察の補助資料、学習の振り返り、発展的内容などが資料として出されている。動画やPDF、画像など、ネット上にある情報の紹介などが各者のオリジナルコンテンツに繋がっている。 まず教育出版は、スクリーンにあるようなコンテンツにつながり、こちらが表示される。今、出ている資料が、PDFで開くようになっており児童が自分の端末で開いて確認することができる。 啓林館については、実験サポートというコンテンツがあり、児童が数字を入力すると合計や平均が出される仕組みになっている。
委員	各者、ページ数や重さが違う。あまり重い教科書もいかなものか。
会長	それでは、理科の選定に入る。(挙手で確認)。 教育出版 0名、啓林館 6名となった。挙手多数ということで、理科は

理科、生活 協議	
発言者	発言内容
会長	啓林館に決定する。 (生活の協議) 次に、生活の協議に入る。先程、委員長の報告で本地区の児童の実態から見た特徴的な教科書について、東京書籍と教育出版の2者が挙げられたが、この2者に絞って協議するという事によいか。(「異議なし」の声)
会長	委員長に再入室していただき、QRコードについて説明をお願いしたい。
専門委員長	まず東京書籍では、ご覧のように、QRコードを開くと左側の方に目次が出てくる。この目次が提示されていくので、学習活動の前後で、繋がりがあるところや調べたいところに合わせて、内容を見ることができる。また、音声付きの動画やアニメーションで情報を提示しているという特徴が見られる。 続いて教育出版では、関連する情報が目次として提示されて、前後を見ることができる。また、学びリンクの目次ページが表示されたものの中から、具体的な動画やデジタル図鑑なども閲覧することができる。
委員	東京書籍の説明にあったが、教科書の使い方というか、継続的な形で学ぶことができるというよさがある。
会長	それでは生活の選定に入る。(挙手で確認)。 東京書籍 6名、教育出版 0名となった。生活は東京書籍に決定する。

社会・地図 報告 質疑	
発言者	発言内容
事務局長 専門委員長 事務局長	社会と地図の研究の成果について、報告を求める。 (報告) 委員より質問を受け付ける。 (社会・地図 質疑応答)
委員	同じ地方の縮尺地図を両方見比べたときに、色や文字の量など違いが見られるが、研究の中で話題にならなかったか。
専門委員長	協議の中では情報量という点で違いがあるということが話題になった。
委員	グローバル化という点では各者どのような違いがあるか。

社会・地図 報告 質疑	
発言者	発言内容
専門委員長	<p>全ての発行者が6年生の教科書で日本と関係が深い複数の国を取り上げている。全ての本文もしくは写真で扱っている国は、アメリカ合衆国、中華人民共和国の2か国である。また、発展的な学習も含めて取り上げられているフランス、大韓民国、サウジアラビア王国、ブラジル連邦共和国を合わせると6か国になる。国際理解の重要性についての理解を深められるよう、世界への貢献や日本の役割に触れながら、全ての発行者が6年生で掲載している。</p>
会長	<p>2点ある。1点目は、社会の方は3者あるので、本地区の子供たちの実態から見たときに、特に特徴的な教科書があれば教えてほしい。もう1点は、社会は資料が勝負なので、QRコードが掲載されているが、それについて教えてほしい。</p>
専門委員長	<p>まず1点目であるが、東京書籍と日本文教出版の2者が挙げられる。東京書籍では、思考力や応用力を養うために、教科書内に問いかけや演習問題が用意されていることで、自ら考え、意見を述べる機会を得ることができるといった構成になっている。また、1ページを使って宮崎牛が発展的な教材として取り上げられているので、児童が社会に関する知識を体系的に学んだり、実際の現象や問題に対してより深く理解できる構成になっている。</p> <p>日本文教出版では、問題解決的な学習のモデルが示され、児童が自主的にテーマを選び、調査や発表を行うことで主体的な学びと協働的な学びを促すことができるような構成となっている。また、宮崎牛が選択教材として、6ページにわたり取り上げられている。児童が社会に関する知識を深め、社会的な思考力や問題解決能力を育てる工夫が見られる。</p> <p>2点目のデジタルコンテンツについては、3者とも児童のタブレット端末を活用して、個別最適な学びと協働的な学びの様々なデジタルコンテンツが用意されている。東京書籍は70を超えるデジタルコンテンツが用意されており、インタビューであるとか、クイズ、ワークシートなど、学習に役立つリンク集が掲載されている。こちらがそのリンク集になる。</p> <p>次に日本文教出版である。こちらは270を超えるデジタルコンテンツが用意されている。子供の思考を助けるコンテンツとして他の発行者と同じように動画、ワークシート、スライドショーなどが用意されている。</p>

保健 報告 質疑	
発言者	発言内容
事務局長	保健の研究の成果について、報告を求める。

保健 報告 質疑	
発言者	発言内容
専門委員長 事務局長	(報告) 委員より質問を受け付ける。
委員	(保健 質疑応答) 心身ともに健康な発達の基礎を培うという視点から、各者の教科書を見たときに、特筆するようなことがあったら教えてほしい。
専門委員長	各者二次元コードを活用して身近な学習課題の発見や課題解決ができるよう工夫が見られたのが特徴であった。
委員	実践に繋がるような工夫という点で、各者違いが見られるか。
専門委員長	実践に繋がるような工夫として、さまざまデジタルコンテンツが用意されている。ほとんどの教科書で自分たちで課題を見つけて、実践に結び付けるというような流れになっている。
会長	本地区の子供たちの実態から見たときに、特に特徴的な工夫が見られた教科書があったら教えてほしい。また、具体的にどのような工夫が見られたのかも併せて説明してほしい。
専門委員長	課題の見つけやすさという点で、特に東京書籍と学研の2者が挙げられる。 東京書籍は、授業の流れがひと目でわかり、課題解決の力を育てる紙面構成となっている。1単位時間を4ページの構成にして効果的に進められるように工夫されている。また、各単元の最初には目標や学習すること、最後には資料と振り返りのページがあり、理解を深めさせる構成となっている。 学研は、3つのステップで、学習の見通しが立てやすく、児童が主体的な学習をしやすい構成となっている。各章の扉で学習内容や、他学年や他教科との学習内容の繋がりを示してあり、特に「ほけんのはこ」や「科学の芽」により学習を広げたり、深めたりする資料がある。また、各単元の最後に関係資料と学習のまとめがあり、理解を深めさせる構成となっている。

社会・地図、保健 協議	
発言者	発言内容
事務局長	では、社会と地図、保健の選定に入るので、会長に司会をお願いします。 (社会・地図の協議)
会長	先程、委員長の報告で本地区の児童の実態から見た特徴的な教科書について、東京書籍と日本文教出版の2者が挙げられたが、この2者に絞って協議

社会・地図、保健 協議	
発言者	発言内容
委員	<p>するということによいか。「異議なし」の声</p> <p>では、この2者について意見等があればお願いしたい。</p> <p>日文の6年生の教科書を見ると、長篠合戦絵図の屏風が具体的に示されている。子供にとって欠かすことのできない大きな資料である。その他5年生の教科書には宮崎県の内容が多く紹介されている。4年生には新燃岳の噴火と高原町の取組、6年生には関税自主権を回復した小村寿太郎など、そういったことを考えると、日文がいいのではないか。</p>
会長	<p>それでは、社会の選定に入る。(挙手で確認)。</p> <p>東京書籍 0名、日本文教出版 6名となった。社会は日本文教出版に決定する。</p>
会長	<p>地図については先程も意見があったが、他に意見はないか。</p> <p>意見がなければ、採決に移ってもよいか。</p>
会長	<p>それでは、地図の選定に入る。(挙手で確認)。</p> <p>東京書籍 0名、帝国書院 6名となった。地図は帝国書院に決定する。</p>
会長	<p>(保健の協議)</p> <p>続いて、保健の協議に入る。先程、委員長長の報告で本地区の児童の実態から見た特徴的な教科書について、東京書籍と学研の2者が挙げられたが、この2者に絞って協議するということがよいか。「異議なし」の声</p> <p>では、2者について意見をいただきたい。</p>
委員	<p>学研には「振り返る」「調べる・話し合う」「学びを活かす」これが1つの活動ごとに出ている。すべて単元の入口に出てくるのがよい。</p>
委員	<p>最終的には、実生活に生かして実践するというのが学研はうまくできていると思った。</p>
会長	<p>保健の選定に入る。(挙手で確認)。</p> <p>東京書籍 0名、学研 6名となった。保健は学研に決定する。</p>

音楽 報告 質疑	
発言者	発言内容
事務局長 専門委員長 事務局長	音楽の研究の成果について、報告を求める。 (報告) 委員より質問を受け付ける。
委員	(音楽 質疑応答) 音楽性豊かな子供たちが育つためには、楽しんで音楽を学ぶことが大切だと思う。そのような観点も含めて、特徴的な工夫はなかったか。
専門委員長	教育出版社に関しては、コンパスのイラストマークのまなびナビを設定して学び方が示されている。そのことによって児童が見通しを持って学習できるような工夫が見られる。またグループ活動時の会話を想定した吹き出しの工夫も見られる。 教育芸術社は、どのように学ぶか、何ができるようになるかを明確に示して、児童の主体的な学習を引き出す工夫が見られる。どのように学ぶかについては、学習活動を資質能力ごとに分けて対応できるよう5つのマークで示されている。それを見ることで子供たちの見通しが立って、楽しく音楽を学ぶことに繋がるという工夫がされています。 また、題材の最後にマナーなどを振り返るまとめが示されていて、それを見ることによって子供たちが充実感を味わえるような工夫が見られる。
会長	QRコードについて、特徴はなかったか。
専門委員長	教育出版社では、和音に合わせて旋律を作ろうという題材で、4小節の旋律を作る。この教科書 20 ページにある二次元コードからワークシートが出てくる。それを活用することができる。 教育芸術社では、和音の響きの移り変わりを感じ取りながら旋律を作ろうという題材で、旋律の上がり下がりイメージし、音を選択して入れることができる。その選択した音が実際に音となって、伴奏と一緒にすぐに演奏を聞くことができる。

図画工作 報告 質疑	
発言者	発言内容
事務局長 専門委員長 事務局長	図画工作の研究の成果について、報告を求める。 (報告) 委員より質問を受け付ける。
委員	(図画工作 質疑応答) 教科書の中の作品を見て「作ってみたい」という創造意欲を掻き立てるこ

図画工作 報告 質疑	
発言者	発言内容
専門委員長	とが大切なのではないかと思う。そのような観点も含めて見たときに、各者で特徴があったか。 2者とも、子供の作品例がたくさん載っており、とても優秀な作品というものばかりではなく、子供たちが日頃から作れるもの、そして参考になるものという写真が多く掲載されている。さらに、海外の子供の作品や有名作家の作品、協働に関わるような作品が掲載されることで、子供たちにとっては憧れる存在のもの、自分でもできそうなものもあり、意欲が継続される工夫が見られる。2者とも工夫が見られる。
会長	かなりのQRコードが出ているが、特徴的なものがあれば紹介してほしい。
専門委員長	特徴的なものをスライドで説明する。2者とも写真の紹介や動画による説明がたくさんあるが、動画で比較すると、開隆堂は動画の速度を変えて視聴することができる。日本文教出版は、音声も流れるが字幕もついている。

家庭 報告 質疑	
発言者	発言内容
事務局長 専門委員長 事務局長	家庭の研究の成果について、報告を求める。 (報告) 委員より質問を受け付ける。 (家庭 質疑応答)
会長	動画コンテンツについて、特徴的なものがあれば教えてほしい。
専門委員長	2者とも豊富な学習コンテンツが用意されている。東京書籍では、基礎技能や調理実習、製作実習、NHK for schoolなどの動画やデジタル思考ツールなどがある。右利き、左利きに対応したものとしては、東京書籍は製作単元において両利きに対応した動画が多く掲載されている。 開隆堂では、基礎技能や調理実習、製作実習の動画、ワークシートや各種資料などがある。右利き、左利きに対応したものとしては、調理単元に関して対応した動画が多くある。
委員	家庭科に関して地域文化なども内容に入ってくるのか。そういったことに特筆している教科書はなかったか。
専門委員長	東京書籍では、伝統的な内容には日本の伝統マークをつけて取り上げられ

家庭 報告 質疑	
発言者	発言内容
	ている。開隆堂では、47都道府県すべての食文化について取り上げられている。

音楽、図画工作、家庭 保健 協議	
発言者	発言内容
事務局長	では、音楽、図画工作、家庭の選定に入るので、会長に司会をお願いする。 (音楽の協議)
会長	まずは音楽の2者について、意見をいただきたい。
委員	音楽が苦手な子供にとっても楽しく学べることが大切である。楽しみながら学ぶという観点から見ると、何を学ぶのか、どのように学ぶのかという視点がはっきりしている教科書がよいのではないか。
会長	教育芸術社は、和音の中の音を拾って音を作るというコンテンツなど、デジタルコンテンツの方も非常に工夫されている。
委員	刈干切唄や日南の泰平踊りが紹介されているのもよい。
会長	それでは、音楽の選定に入る。(挙手で確認)。 教育出版 0名、教育芸術社 6名となった。音楽は教育芸術社に決定する。
会長	(図画工作の協議) 次に、図画工作の協議に入る。2者について意見をいただきたい。
委員	開隆堂は、QRコードで読み取った内容を速度を変えて、子供が見直すことができるというのはよい。
会長	それでは図画工作の選定に入る。(挙手で確認) 開隆堂 6名、日本文教出版 0名となった。図画工作は開隆堂に決定する。
会長	(家庭の協議) 次に、家庭の協議に入る。2者について、意見をいただきたい。
委員	被服に関する部分で言うと、開隆堂の玉結びと玉止めのページは分かりやすいと思う。

音楽、図画工作、家庭 保健 協議	
発言者	発言内容
会長	<p>それでは、家庭の選定に入る。(挙手で確認)。 東京書籍 0名、開隆堂 6名となった。家庭は開隆堂に決定する。</p>

道徳 報告 質疑	
発言者	発言内容
事務局長 専門委員長 事務局長 委員 専門委員長	<p>道徳の研究の成果について、報告を求める。 (報告)</p> <p>委員より質問を受け付ける。 (道徳 質疑応答)</p> <p>道徳科の学習というのは、子供が自分の生き方において、前はできなかったことが、今日の学習をとおして、次はできるようになりたいと思えることで道徳性が養われていくのだろうと思う。そのような観点から、本地区の子供の実態に合った教科書はなかったか。</p> <p>本地区の児童の実態として、道徳的価値の理解をもとに、自分自身の中で見つめたり、議論しながら、考えを深めていくような自分ごととして日常生活での実践意欲に結びつけるということがあまり得意ではない。また、コロナ禍であったので、身近な社会に課題意識をもちにくいというようなことが挙げられる。</p> <p>そのような実態を踏まえて、2者の教科書が挙げられる。まずは東京書籍である。道徳の学習を通して、自分自身のこれからの課題や目標を見つけていくような力をつけるために、教材末に2つの発音が明示してある。そのうち1つは自分を見つめさせる機会がもてるように設定されたものであるという点である。また、子供のイラストから出ている吹き出しでは、自分の考えをまとめたり、深めたりするヒントとなる言葉があるなどの工夫が見られる。</p> <p>もう1者は、光村図書出版である。よりよい集団づくりを目指して、人とかかわりを作っていく力というものも、本地区の児童に身につけさせたい力の1つである。光村図書出版では、1学期のテーマが、まわりの人とよりよい関係を築くこと。2学期が、広い視野で人や社会と関わること。3学期が自分の生き方を見つめることと、テーマを広げながら考えていくことができるように、教材が配列されている。さらに、より自分のこととして考えるために、自分たちの身近な課題を扱うコラムと教材を組み合わせたユニットというのが盛り込んであり、実践へと結び付けることが期待できると考える。</p>
会長	<p>2つ聞きたい。1つは道徳の教科書に、SNSとかインターネットの使い</p>

道徳 報告 質疑	
発言者	発言内容
専門委員長	<p>方がクローズアップして掲載されている。先程の2者のみで構わないので、特徴的なものがあれば教えていただきたい。</p> <p>もう1つは、道徳の教科書にもかなりのQRコードが出ているが、先程の2者について特徴的なことがあれば教えていただきたい。</p> <p>情報モラルについて考えさせる教材は、どの発行者も扱っている。光村図書出版では、1年生から6年生において必ず1つは教材として入っている。全学年において、コラムとして設定されており、情報モラルを扱うということに重点を置いている。</p> <p>東京書籍についても同じように1年生から6年生まで、1つずつ教材が設定されているが、コラムではなくて教材の中で確実に指導するという点で、他社と大きく違いがあるということはない。</p> <p>QRコードについて、まずは東京書籍のQRコードは、左側に続く教材が並んでそこから自分の今学んでいる教材を選ぶような形になっている。特徴としては、デジタルノートが出てくるようになっている。子供たちのタブレット書き込みができるところが特徴的である。</p> <p>続いて光村図書出版は、主に映像について力を入れている。例えば、東日本大震災について、災害から命を守るためにということ、具体的にどのような災害から命を守るのかということまで視点を広げて、子供たちに提示できるようなものになっている。文章だけではわからないものも映像で理解できるように工夫している。</p>

外国語 報告 質疑	
発言者	発言内容
事務局長 専門委員長 事務局長	<p>外国語の研究の成果について、報告を求める。 (報告)</p> <p>委員より質問を受け付ける。 (外国語 質疑応答)</p>
委員	<p>本地区の子供たちの実態から見たときに、特に特徴的な工夫が見られた教科書があったら教えてほしい。また、具体的にどのような工夫が見られたのかも併せて説明してほしい。</p>
専門委員長	<p>特徴的な発行者が2者ある。東京書籍と開隆堂である。</p> <p>東京書籍は、動画や音声といった、本物の英語をいつでもどこでもアクセスような機能がついている。また、臨場感のある海外の動画があるなど、児童が興味関心をもって英語の学習を進められるような工夫が見られる。</p> <p>開隆堂は、目的や場面、状況などに応じて、自分の考えや気持ちを相手に</p>

外国語 報告 質疑	
発言者	発言内容
会長	伝えるための英語を、既習の語句や表現の中から取捨選択することが求められるが、その中で、それらをサポートする言語材料をまとめた別冊のワードブックなどが特徴である。
専門委員長	QRコードについては、各者どのようになっているか。デジタル教科書として対応できるような内容になっているのか。
	各者とも対応できる内容になっている。

道徳、外国語 協議	
発言者	発言内容
事務局長	では、道徳と外国語の選定に入るので、会長に司会をお願いする。 (道徳の協議)
会長	まずは道徳から選定に入る。先程、委員長の報告で本地区の児童の実態から見た特徴的な教科書について、東京書籍と光村図書出版の2者が挙げられたが、この2者に絞って協議するというのでよいか。「(異議なし)の声」 では、2者について意見をいただきたい。
委員	取り上げられてる教材というのは1つの大事な視点だと思う。児童が身近に感じ、尊敬を受けるような先人を取り上げている教材が多い光村図書が、先生方にとっても使いやすく、子供にとっても学びの深いものとなるのではないかと思う。
会長	それでは、道徳の選定に入る。(挙手で確認)。 東京書籍 1名、光村図書 5名となった。道徳は光村図書出版に決定する。
会長	(外国語の協議) 次に、外国語の協議に入る。 先程、委員長の報告で本地区の児童の実態から見た特徴的な教科書について、東京書籍と開隆堂の2者が挙げられたが、この2者に絞って協議するというのでよいか。「(異議なし)の声」 では、2者について意見をいただきたい。
会長	デジタル教科書については、どこを選んでも大丈夫だというような説明もあったので、教科書の内容で決めていきたい。意見はないか。

道徳、外国語 協議	
発言者	発言内容
委員	<p>東京書籍の「My Picture Dictionary」という小冊子が、英語を使って会話を広げる際に、必要となる言葉で48ジャンル取り上げられており、そういう部分が使いやすいと思う。</p> <p>また教科書の方向性を考える際の基本コンセプトが、5年生が「自分のことを伝え合おう」「身近な地域のことを伝え合おう」「日本のことを紹介しよう」、6年生が「世界の国や生活を伝え合おう」、「世界と地球を見つめよう」、「思い出と夢を紹介しよう」と、より6年生らしく内容が構成されている。そういうコンセプトで作成されているというのも、視点が自分から世界へ広がるという構成になっており、よいと思う。</p>
会長	<p>それでは、外国語の選定に入る。(挙手で確認)。 東京書籍 6名、開隆堂 0名となった。外国語は東京書籍に決定する。</p>

小学校 選定結果の確認	
発言者	発言内容
事務局長	<p>選定結果を確認する。</p> <p>国語(光村図書出版)、書写(光村図書出版)、社会(日本文教出版)、地図(帝国書院)、算数(新興出版社啓林館)、理科(新興出版社啓林館)、生活(東京書籍)、音楽(教育芸術社)、図画工作(開隆堂出版)、家庭(開隆堂出版)、保健(Gakken)、道徳(光村図書出版)、外国語(東京書籍)</p> <p>以上のとおり決定した。</p>